

富 噴井



《噴井》

画:小林功氏

北ノ窪子ども風土記

令和6年9月19日

小田原市立富水小学校

校長 鈴木 一彦

9月に入りました。まだまだ酷暑が続いていますが、元気な子供たちの笑顔が戻り、学校は活気に溢れています。

夏休み前に、この富水小学校の児童の登下校の安全を見守ってくださっている方々の会合がありました。改めて感じたことは、本当に多くの方がこの広い学区の多くの場所で子供たちを見守ってくださっていることへの感謝の思いです。最近では、冬の寒さもさることながら、夏は異常な暑さとなっています。そのような中でも、毎日多くの方が子供たちのために交通指導をしてくださっています。会の中では、子供たちから挨拶だけでなく、体を気遣う言葉をかけてもらったりしてやりがいを感じているというお声をいただきました。

また、自分で判断して行動したり挨拶をしっかりしている様子が見られる一方、横に広がって並んで歩いていること、下校時が特に元気で危なっかしいことなど気になる点もあるというお話をいただきました。

9月初日の朝会で子供たちへ指導しました。ぜひ、今一度ご家庭でもお話しください。



さらなるインクルーシブ教育の推進

小田原市では、支援教育の理念のもと、共生社会の実現に向け、すべての子供が同じ場で学び、ともに育つことを基本的な考えとしたインクルーシブ教育を推進しています。小田原市のインクルーシブ教育の考えは、「多様な子どもたちが同じ場で学びあう学校をめざし、一人一人の児童生徒にとって『その時点での教育的ニーズに最も的確に応える学びの場』を配慮することで、真に教育の機会均等を図る」というものです。

インクルーシブな学校づくりが進むことによって、子供たちが相互に理解しあいながら社会性を養うことができ、子供たちの「人格と個性を尊重し支えあう力」や「互いの良さや多様性を認め、協働する力」を育むことにつながります。

これまでも、本校では、「学びの機会を平等にし、すべての子供が参加できるための合理的配慮を意識する発想の転換」、「共に学ぶ仲間として並び順、ロッカー、机、作品、名簿を共通にすることなどによる意識づくり」「すべての教師が主体的に関わっていく交流および共同学習の推進」「子供を中心とした支援の輪を作る信頼関係の構築」を進めてきました。教育相談コーディネーターが中心となって一人一人に寄り添い、必要ときに必要な支援をすることを目指して、保護者と学校が協力し合いながら、全職員でインクルーシブ教育の推進に向けた取り組みを行っています。

何か相談がありましたら、まず担任にご連絡をいただきたいと思います。支援内容によっては、教育相談コーディネーターが窓口となって、お話をうかがいます。



避難訓練を実施しました

この夏休みは、熱中症や地震、大雨などの自然災害について考える機会が多くありました。9月2日夏休み明け初日は、台風の影響で臨時休業となりました。本校も避難所が開設されました。

9月6日(金)には、8月の南海トラフ注意情報なども含め、8月の地震を振り返りつつ、地震その後火災という想定で避難訓練を実施しました。今年度の避難訓練では、必ずしも誘

導できる教員がいるとは限らないということ、地震は数回やってくることを想定した訓練も実施しております。

また、普段の学校生活においても、理科室などの特別教室へ移動する際も、防災頭巾は必ず持ち歩くといった見直しも図り、実施しています。

ご家庭におかれましても、非常用持ち出し袋の準備、家具の固定、家族での避難計画の確認、避難場所や連絡方法など緊急時に備えていらっしゃると思います。特に、大きな地震などの時には、引き取りの対応をお願いすることとなりますので、想定の中に含めていただきますようお願いいたします。



地域資源を生かした学習の充実を目指して

9月6日に第2回学校運営協議会を開催しました。今回の協議会では、市の教育目標である社会力の育成、そして学校グランドデザインに位置付けている「体験学習の充実」「地域資源の活用」の具現化に向け、協議を行いました。まずは、学校が求めている現状をお伝えし、共通理解を図りました。協議の中では、富水地区、富水小の歴史も話題にあがり、とても興味深いものでした。委員の皆様からは、地域のことや地域にいる人材のことについて、協力を厭わないというお話もいただきました。力強い学校の味方、応援団になっていただいていると実感しました。

地域資源を教材化し、地域の人とかかわって、より豊かな学びを今後も進めていきたいと思ひます。

10月26日(土) 運動会

10月26日(土) 8時45分より半日日程(12:05完全下校)で運動会を実施いたします。

学校では、徐々に運動会の練習が始まり、10月に入ると、運動会一色となっていきます。頑張って練習した子供たちの姿を皆さんとともに応援していきたいと思ひます。